

# 平成29年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 春季大会 柔道大会 要項

1 主 催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟

2 主 管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部

3 大会期日 平成29年4月22日(土) 7時00分 開場  
7時50分 集合・計量  
8時30分 審判会議  
8時45分 開会式  
9時00分 試合開始

4 会 場 伊勢崎市境武道館 0270-74-3905  
スポーツ振興課 0270-74-1113

## 5 大会役員

専門部長	松本 明良(宮郷中)			
専門副部長	菅沼 明広(境南中)			
専門委員長	三輪 洋介(宮郷中)			
委 員	星野 治道(第一中)	竹林 千晴(第一中)	新井 聡明(第二中)	
	草場健一郎(第二中)	橋本 和也(第三中)	木村 弘枝(第三中)	
	高橋 哲(第四中)	菅原 晃子(第四中)	芳賀 武史(殖蓮中)	
	豊島 俊春(殖蓮中)	今泉 敦子(宮郷中)	坂部 洋平(赤堀中)	
	諸岡 知晃(赤堀中)	木暮 寛幸(あずま中)	工藤 千晶(あずま中)	
	佐藤 康(境南中)	中寫祐一郎(玉村中)	萩原 夏海(玉村中)	
	柿沼 翔太(玉南中)	野口 高弘(玉南中)		

## 6 審判規定

国際柔道連盟試合審判規定(2017~2020)および「少年大会特別規定」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、佐波伊勢崎中体連申し合わせ事項によって行う。

## 7 選 手

- (1)男子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名選手5名補員2名とする。
- (2)女子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名選手3名補員1名とする。
- (3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。  
なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。
- (4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。
- (5)団体戦において補員の充当により抜けた選手も、個人戦には出場できる。
- (6)個人戦は、各体重別とする。

<男子> 50Kg以下, 50kg超 ~ 55Kg以下, 55Kg超 ~ 60Kg以下, 60Kg超 ~ 66Kg以下,  
66Kg超 ~ 73Kg以下, 73Kg超 ~ 81Kg以下, 81Kg超 ~ 90Kg以下, 90Kg超

<女子> 40kg以下, 40kg超 ~ 44Kg以下, 44Kg超 ~ 48Kg以下, 48Kg超 ~ 52Kg以下,  
52Kg超 ~ 57Kg以下, 57Kg超 ~ 63Kg以下, 63Kg超 ~ 70Kg以下, 70Kg超

## 8 試合時間

《団体戦》予選リーグ2分 決勝トーナメント3分

《個人戦》準々決勝まで2分 準決勝・決勝3分

## 9 試合方法

### 《団体戦》

団体戦における優勢勝ちの判定基準に「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」とは、指導差が2あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

(1)男子は1組を4校の2リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位3校、6校によるトーナメント戦を行う。女子は1組3校または4校の3リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位2校、6校によるトーナメント戦を行う。

(2)リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、引き分けとする。

(3)リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。

(ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

(イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。

(オ) (エ)において同等の場合は、負けの内容による。

(カ) (オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

ただし、3校同等の場合は、代表選手3名によるリーグ方式を行う。

(4)トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) 任意の選手による代表戦により決定する。

### 《個人戦》

個人戦における判定基準は「技あり」または「僅差」とする。「僅差」とは、指導差が2あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

(1)各階級でトーナメント戦を行う。

## 10 表彰

団体戦の優勝校には、優勝杯及び賞状を授与し、第2位校、第3位校には賞状を授与する。個人戦は、各階級ごとに別途定める。

## 11 代表資格

《男子 団体戦》本大会では、優勝校、第2位校が代表資格を持ち、県大会に進出する。

《女子 団体戦》本大会では、優勝校、第2位校が代表資格を持ち、県大会に進出する。

正式な出場枠は4月20日(木)の県競技部総会で決定します。

《男子・女子 個人戦》各階級の優勝者が代表資格を持ち、県大会に進出する。なお、各階級の県大会シード選手を擁する階級については、シード選手を除いた上位第1位が代表資格を持ち、県大会に進出する。補欠者は、シード選手を除いた上位第2位とする。男子の各階級の選手登録が16名につき1名女子は各階級の選手登録が8名につき1名、代表資格者が増える。また、県大会シード選手が本大会のその階級の計量を通過できなかった場合は、県大会への出場資格を失うものとする。

12 佐波伊勢崎中体連申合せ事項

《団体戦》

- (1) 男子予選リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は2分とし、指導差が1以下のときは延長戦(ゴールデンスコア)2分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。
- (2) 決勝トーナメントにおける代表戦の試合時間は3分とし、指導差が1以下のときは延長戦(ゴールデンスコア)2分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。

《個人戦》

- (1) 指導差が1以下のときは旗判定を行い、必ず勝敗を決する。ただし、準決勝、決勝、3位決定戦では指導差が1以下のときは延長戦(ゴールデンスコア)2分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。

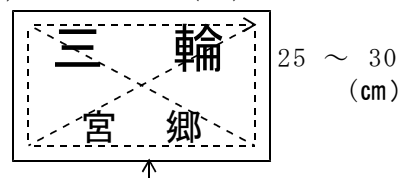
13 その他

- (1) 選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は、出場できない。なお襟から5～10cm下に下記のように付ける。
- (2) 相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。
- (3) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
  - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること。)
  - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (4) 試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤、古番(下または右)を白とする。
- (5) 試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)を男子は2部、女子は1部を受付へ提出する。

(メンバー表)

先	次	中	副	大	学 校 名
					補 補 員 員
(模造紙1/4)					

(ゼッケン) 30～35(cm)



- ・男子は黒、女子は赤文字
- ・対角線にも強い白い糸で縫いつける。
- ・指がどこにも入ったり、ひっかかったりしないように縫う。